

2021年7月28日

## 働き方改革の推進とCO2排出量削減に向け 本社会計に係る書類業務のデジタル化

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、従業員の柔軟な働き方の実現とペーパーレス化によるCO2排出量削減に向け、2022年4月より、本社等に所属する従業員7,000名を対象に経費申請・旅費申請分野を中心とした会計業務のデジタル化を行う予定です。

具体的には、株式会社コンカーが提供する経費精算・管理クラウド「Concur Expense」や請求書管理クラウド「Concur Invoice」を活用することで、現行の紙メインの業務フローをデジタル化し、紙での申請・押印作業や証憑の紙保管といった業務負荷を削減します。本取組によって、年間で約250,000枚発生していた経費申請書や請求書の印刷が不要となり、当社が目標の一つとして掲げているスコープ3<sup>1</sup>のCO2排出量削減を推進します。

また、従業員がスマートフォンで証憑等を撮影し経費申請することが可能となり、証憑の紙保管が不要となるほか、出社せずにテレワーク時や外出先から経費申請・承認が可能となるなど、申請者と上長の双方で働く場所を限定しない柔軟な働き方を実現します。

今後も当社は、事業効率の向上や適切な業務運営の遂行を目的としてテクノロジーを積極的に活用しながら、事業変革を進めてまいります。

### ■経費精算・請求書管理のデジタル化による業務変化イメージ

現状			将来		
出社前提	大量の紙出力・押印	アナログな経費精算	どこでも	デジタル化・電子承認	モバイルで経費精算
					

以上

<sup>1</sup> 当社自らの直接排出(スコープ1)、他社から供給された電気などの使用に伴う間接排出(スコープ2)以外の間接排出